

日本生まれのノーベル文学賞作家 カズオ・イシグロ氏の作品を紐解く

成城大学大学院 文学研究科主催 学術講演会

日本を舞台にした小説2作品などを参照して考えていきます
「カズオ・イシグロと〈始まり〉の探求」

講師：秦 邦生 氏（東京大学大学院准教授）

2021年12月2日（木）15：00～16：30 オンライン開催（無料）

成城大学（東京都世田谷区 学長：戸部 順一）は、成城大学大学院 文学研究所が主催の学術講演会「カズオ・イシグロと〈始まり〉の探求」を、2021年12月2日（木）に開催いたします。

本講演会は、東京大学大学院准教授・秦 邦生氏をお迎えし、2017年にノーベル文学賞を受賞した小説家 カズオ・イシグロ氏の小説をテーマに、作品を考察・紐解いていきます。故郷としての日本や誕生の瞬間をも含意する〈始まり〉という多義的なテーマがイシグロのキャリアの始まりの時期にどう表れていたのかを、初期の短編や日本を舞台とした小説二作品、アーカイヴ資料などを参照しつつ考えていきます。

成城大学大学院 文学研究科では、成城大学の教員、大学院生の啓発を目的として、様々なテーマを掲げた講演会を定期的に開催しています。それは同時に、学外の学生、社会人の知的要請に応じようとするものでもあります。学外の方も奮ってご参加下さい。

<講師プロフィール>

秦 邦生（しん・くにお）氏

1976 年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科准教授。専門は英文学。編著書に『ジョージ・オーウェル『一九八四年』を読む——ディストピアからポスト・トゥルースまで』（編著、水声社、2021 年）、『カズオ・イシグロと日本——幽霊から戦争責任まで』（共編著、水声社、2020 年）、『イギリス文学と映画』（共編著、三修社、2019 年）、訳書にフレドリック・ジェイムソン『未来の考古学 I・II』（共訳、作品社、2011-2012 年）など。

<開催概要>

日 時：2021年12月2日（木）15：00～16：30

タイトル：「カズオ・イシグロと〈始まり〉の探求」

講演者：秦 邦生氏（東京大学大学院総合文化研究科准教授）

開催方法：Zoom ミーティング

参加費：無料

申込方法：11月29日（月）までにお申込みフォーム <https://forms.gle/XbBdcaVcykdkveWS8> に
お申込みください。

参加申し込みをされた方には、講演会の前日までにオンライン講演会 URL 情報をメールでお送りします。

お問い合わせ：成城大学大学院文学研究科（平日 9：00-16：00）

E-mail：bungei55@seiyo.jp

